

学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価の目的

自己評価結果について、学校関係者評価委員それぞれの観点から意見を述べ、指導・助言を行うことにより、学校運営の改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価委員会出席者

区 分	氏 名
保育科実習園元所長	黒田 香代美
福祉科実習園副施設長	木間 大祐
保育科卒業生	落合 萌花
福祉科卒業生	野村 將一

3. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日：令和6年7月8日（月） 16：30～

場 所：大泉保育福祉専門学校 中央校舎会議室

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人三吉 経営理念「地域社会への貢献」・「全員の幸福」 ・育成人材像（教育目標） <ol style="list-style-type: none"> ① 専門の知識・技術の習得と、幅広い福祉分野への関心を深める ② 精神力を高め、努力と前向きな意欲を継続する ③ 主体的な行動力や表現力の伸長を図る ④ 実践力を培い、即戦力となる専門家を養成する ⑤ 社会集団でリーダーシップを発揮できる職業人を育成する ⑥ グローバルな視点での社会貢献意識を育成する ・本校は、実務経験のある教員が多く、現場で直ぐに役立つ実践的な知識・技能を学ぶことが出来、社会的な人材不足が問題となっている「保育士（保育教諭）」「介護福祉士」を養成し、優秀な有資格者として継続して輩出している。 ・保護者参加の入学式を挙行。式後に「入学にあたって」を配布し、本校における養成教育等の取り組み等についての説明会を実施した。 ・後援会総会ならびに保護者懇談会を実施し、学校と保護者間の情報交換が行えた。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育目標等について、学生へ配付する学生便覧、保護者向けの小冊子「入学にあたって」へ記載し周知を行っているが、教職員・学生ともにより認識を深め、到達点へと近づけていきたい。 				
<p>【委員の意見等】 各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度毎に運営方針、部署ごとの事業計画を策定し、学校運営を行っている。 ・各部署の代表者による運営委員会を意思決定機関としており、学則に明記している。 ・本校の運営母体である、社会福祉法人三吉にて就業規則・給与規定を整備している。 ・法令遵守に基づきコンプライアンス体制を整備している。 ・教育活動等に関して本校ホームページ上で積極的に公開を行っている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム化をより一層進め、業務の効率化・軽減化を図る事により、今まで以上に学生の個別指導に活かしていく事が出来る。 ・教職員が最新の情報システム化を行うための能力の向上を図る。(ホームページ・SNSを強化し、より正しく本校を知ってもらう) ・教育活動の情報公開の強化を図る為、その内容について見直しを進め、学校の取組等を知ってもらう。 <p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・学科毎に修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署において、年度毎に養成校設置基準に沿って教育課程の見直し等を実施し、事業計画内で策定している。 ・独自科目を含め、各学科内でカリキュラムの研究や授業方法について検討を行い実施している。 ・成績評価、単位認定、進級判定の基準を明確にしており、学生便覧に記載し学生への周知徹底、ホームページでの情報公開を行っている。 ・学校運営の適格な推進を図る為、学校関係者評価委員会を設置し、会議を実施している。 ・授業評価を実施。運営会議において評価を行い、各学科長が教員に評価内容を伝え、助言・指導を行った。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原短期大学と教育連携を行っているが、より多くの高度な情報の共有を行い、意見交換をしていくことにより、学習の質の向上を図る。 ・校外活動やボランティア活動を通じ、専門職業人となる学生のモチベーションを高めていく。 				

【委員の意見等】

実習指導方法について、学校及び実習園・施設の双方が共通理解を得られる機会（実習指導者懇談会等）を復活し、今後も継続して開催していただきたい。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率100%を継続している。(2023年度1人あたり 保育科13.0件、福祉科22.7件の求人あり) ・介護福祉士国家試験対策講座を開講し、国家試験合格に向けた取り組みを行っている。また、模擬試験等の評価を基に、個々に応じた学習サポートを行っている。 ・退学率低減の為、個別面談、学力不振者への補習授業、保護者を含めた三者面談、各種奨学金を含めた学費支払い相談等を実施している。 ・就職先からの卒業生への評価、卒業生からの意見を踏まえ、改善に取り組んでいる。 ・様々な理由により留年する学生に対して、適宜丁寧に対応し、卒業や就職への指導を行っている。 ・学習状況、出欠状況など早期に情報共有し、保護者を含めた面接等を実施している。 ・本校は喀痰吸引等登録研修機関として、介護福祉職に対する研修の機会の提供とともに、福祉科卒業後の「実地研修修了」に向けた円滑な支援や修了認定等に取り組んでいる。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生・在校生に対する社会的な活躍に対する情報収集、適切な評価を実施することで、より一層の躍進を図る。 ・学生の介護福祉士国家試験合格率は、年々上昇しているが、未だ100%には至っていないため、更に個々に応じた学習支援の強化を図っていく。 ・わらしべ同窓会との連携・協働をはかり、特に卒業生の現況把握を実施していく必要がある。 <p>【委員の意見等】</p> <p>多くの卒業生が貴校を訪ね、就職後の悩み相談等をされているとお聞きしたが、離職防止の為にも、就職先で必要とされる対応等を伝えていただきたい。</p>				

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業学年 HRA を中心に、事務担当者と連携して、就職活動支援を行っている。 ・学生相談に関しては HRA を中心に、どの教職員でも相談ができる体制が整備されている。 ・看護師資格を持つ福祉科専任講師を中心に、個別に健康相談にも応じている。 ・女子寮、無料駐車場、公共交通機関通学券の半額補助等の学生支援を整備している。 ・保護者に対しては、状況に応じて電話連絡、二者面談、三者面談を実施し、連携を取っている。 ・日頃から多くの卒業生が来校しており、その都度相談に応じている。 ・各高等学校へ訪問をし、専門職についての資格説明や授業体験等を行っている。 ・対面やメール、電話での個人面談を繰り返し行い、いつでも相談しやすい環境を作っている。 ・就職活動に不安を訴える学生に対して、就職について具体的なイメージが持てるような指導を行っている。 ・学生が専門職として自立できるよう教職員が連携を取って支援している。 ・該当する地域施設との連携を図り、コロナ禍以前に行っていた、学習進度に合わせた施設見学等を、徐々に回復させている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p>				

- ・学生の相談等について、保護者とも情報を共有しながら、丁寧に対応していく。
- ・入学後も慣れるまでに時間がかかり精神的に不安定になる学生もあり、声掛けを行いながら個別に対応を行っていく。
- ・学費分割納入や各種奨学金の取り扱いについて、事務担当者が個別相談に応じているが、今後も各種奨学金の案内等を積極的に行っていく。

【委員の意見等】

実習や就職先の決定に際して、保護者の意見が反映される割合が以前より高くなっていると感じている。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
【現状】				
<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣指定の国家資格を取得できる養成校として、教育環境を整えている。 ・実習施設等と連携し、教育体制を整えている。 ・学生・教職員全体での避難訓練を実施している。 				
【今後の課題・改善方策】				
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、定期的な防災設備の点検・更新も行いながら避難・防災訓練を実施していく。また、教職員に向けた研修やマニュアルも作成する。 				
【委員の意見等】				
各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。				

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県専門学校各種学校協会の取り決めも遵守しながら、適正に実施している。 ・教育成果となる資格取得状況・就職状況について、本校のホームページやパンフレット内で周知している。 ・社会福祉法人立の専門学校として、学生が学びやすい学費設定を心掛けている。 ・志願者数は年度による増減があるが、少子化や進学する上級学校の種別への影響を考慮し、訪問やガイダンスへの参加を積極的に行っている。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の進路指導担当と連携を強化し、常に最新の情報が、効率的に共有できるようにしていく。 ・高校での進路指導に役立つ資料作成。 ・保育士・幼稚園教諭・介護福祉士資格の専門性、実践で役立つ学び、就職率等をPRしていく。 ・全体の学生数減少の中での学生確保の為、専門学校で学ぶ魅力・メリット等の内容の発信を強化していく。 ・他校の学校案内、募集案内などを比較検討し、より本校の強みをアピールする方法を探っていく。 ・幅広い学生募集をする上での社会人、一般の方への広報アピールの強化。 <p>【委員の意見等】</p> <p>近隣校で保育士・介護福祉士の養成校募集停止が相次いでいるが、東毛地区最後の養成校として、学校継続をしていただきたい。</p>				

(8) 財務

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務についての会計監査は法人本部にて適正に行われている。 ・財務情報について本校ホームページにて公開している。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短中期的には安定しているが、長期的にはより多くの学生数の安定確保が必要となる。(将来的な経営の安定化を図る為、学生募集・付帯事業に力を入れる) <p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に法令遵守を意識して、適正な運営を心掛けている。 ・個人情報保護規定を策定しており、規定に基づき対策を行っている。 ・自己評価結果は本校ホームページで公開している。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を実施後、学校長を中心に改善に取り組んでいるが、自己評価を速やかにフィードバックし、より迅速に改善していけるようにする。 				
<p>【委員の意見等】</p> <p>各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。</p>				

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校からの依頼による職業体験の為の模擬授業等を開講している。 ・外部向けに実務者研修、喀痰吸引等研修を開講している。 ・離職者が対象となる群馬県からの委託訓練生を積極的に受け入れている。 ・新型コロナウイルス感染症の制限の解除に伴い、該当する地域団体との連携や交流の機会を増やし、学生のボランティア活動等の経験の機会が回復しつつある。 <p>【今後の課題・改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数が減少してきている中で、本校へ多数寄せられるボランティア依頼への対応が難しくなっている為、対応手順の見直しを検討していく。 <p>【委員の意見等】</p> <p>学生時代のボランティア活動はとても貴重な体験となる為、コロナ禍の制限が緩和されてきた中、活動の機会を増やしていただきたい。</p>				